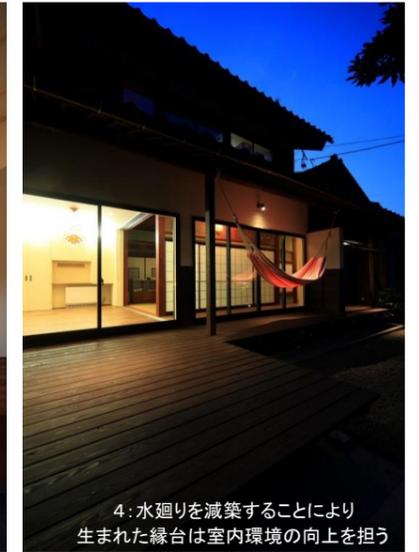


国土交通大臣賞 【作品部門】

リフォーム前後の写真



・リフォームの動機/設計/施工の工夫点/施主の感想・満足度/住宅の価値を向上させた内容など

【概要】
 地域固有の風土や習慣から生まれた民家には必ず自然とうまく付き合っていくための意味があり、その建ち方には美しさを感じます。その建ち方はその地域だからこそであり、全国共通のプロトタイプの住宅とは一線を画します。室内から庭を見通すことができず、外観の中で異質だったテラスやサンルーム、ベランダの用途を移動させ減築しました。六畳四間の和室は現在の住まい方に対応しづらいため、二間を残し解体しました。そこにリビングダイニングを配置させることで、団欒の中で庭を眺めることができます。外観は自然とうまく付き合うように、内観は施主が住みやすいようにすることで、建物の持つ本来の美しさを取り戻すと考えます。

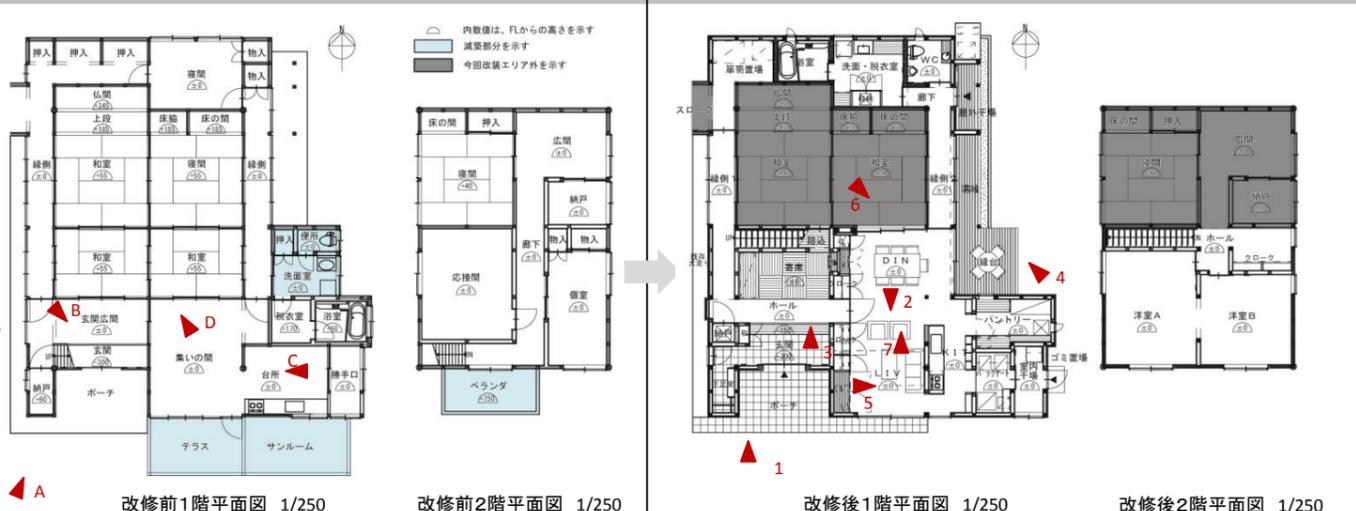
【地産地消】
 地産である1500年の歴史を持つ越前和紙を壁や天井に貼っています。これまで触れることが少なかったであろう産物を意識的に使うことで、家族内、近隣内を飛び越え地域の中の一帯という意識が生まれるのではないかと考えています。地域の中で人と自然に逆らうことなく調和を求め、そんな住まいの在り方を考えました。

性能向上の特性
 耐震性能、耐久性能、バリアフリー性能、防音・遮音性能、温熱性能、室内空気環境、防犯性能

特に配慮した事項
 ・耐震補強 ・生活エリアのバリアフリー ・大家族で住むための団欒の場の心理的バリアフリーの向上 ・水廻り部分を減築し、縁台にするこよる風の抜けでの快適性の向上及び室内空気環境の向上

所在地	福井県越前市	築後年数	60年	施工期間	150日間
該当工事面積	158.40㎡ / 総工事床面積 158.40㎡	該当部分工事費	2,500万円 / 総工事費 2,500万円		
居住者構成	15歳以上65歳未満：5人、65歳以上：2人、15歳未満：0人、ペット：猫2匹 犬1匹				

リフォーム前 リフォーム後



リフォーム部位：■居室 / ■台所 / ■浴室 / ■便所 / ■洗面所 / ■廊下 / ■階段 / ■玄関 / ■エクステリア / □マンション共用部分

講評

この作品は、越前地方の伝統的様式の建物の良さを活かし、地場産の自然素材を用いながら、家族が集まる快適なスペースを作ることを主眼としたリフォーム事例である。伝統的な外観は築後約60年の間に増築などで損なわれていたが、今回のリフォームでは減築によってそれを回復し、古くからある建物の良さと現代の居住環境の共存を、無理のない方法で実現している。

平面計画の特徴としては、伝統的な田の字プランを廃し、家族が集う快適なリビング・ダイニングを中心に据えたことがまず挙げられる。このスペースでは3世代の家族がそれぞれの時間を過ごし、また皆が集まって団欒する場になっている。高齢の祖父母世代はリフォーム対象外の離れに住むが、昼間は殆どここに在室しており、リフォームを始めたときに3人いた娘さんたちも2人が相次いで嫁いたが、孫を連れて再び集まって来ている様子である。水周りの移設の結果、外周部に設けられたウッドデッキを介した採光と眺望が確保され、明るく快適なスペースになっている。

このリビング・ダイニングに接した開放的なキッチンは、気取らず気軽に音楽を聞きながらの家事が可能であり、セミオープン形式のパントリーに繋がっていて使い勝手は良さそうである。さらに洗濯物の室内乾燥場や、たっぷり確保したゴミ分別保管スペースなど、雪国ならではの周到的配慮も見られる。

田の字プランの半分を成していた仏間と神棚のある部屋は、リフォーム対象外でそのまま残されているが、大型の間仕切を閉じれば独立した居間や接客空間としても機能する。また玄関の畳敷きの小部屋は、漆で再生された時代ものの長持が置かれ、にじり口で奥の和室と繋がった簡易接客スペースだ

が、現状ではお洒落なミニギャラリーとして使われている。

内装には越前和紙が多用され、木部や家具に漆が用いられているなど、地場産の伝統材料が積極的に使われている。和紙は耐水コーティングされており、柔らかい反射光を室内に導いている。また断熱性が強化された外周開口部には、殆ど開閉されていなかった雨戸に代えて、やはり和紙製の折りたたみブラインドが設けられている。古民家再生には構造材を現わしたインテリアが多いが、敢えてそうとはせず、時代に則した快活な生活空間を実現している。

性能向上については、壁・床・サッシなどの外被の断熱強化に重点を置いている。電力利用が普及しているこの地方の特性を生かした、深夜電力で煉瓦に蓄熱する輻射式電気暖房と、通常のエアコンによって、リビング・ダイニングは熱的に十分満足できる空間となり、暖房コストも大幅に改善された。構造的には、基礎は部分補強として伝統的な石場建てを残しながら、壁の補強で耐震性能を確保している。なお、リフォーム後に始まった祖父の車椅子生活にも、あらかじめ配慮されていた開口幅や段差解消などで十分対応できている。

以上のようにこの作品は、伝統的な建物の良さを残し、地場産材を積極的に活用しながら、現代の生活に要求される環境条件を無理なく実現した、バランスのとれたリフォームの好例である。リフォーム後2年を経て、施主家族の満足度は極めて高いことが実感できる。国土交通大臣賞にふさわしい優れた作品である。